

かなざわじょうほく

金沢城北地区

(石川県金沢市)

- 計画期間 平成18年度～平成22年度
- 面積 935ha
- 交付対象事業費 1,895百万円
- 市人口 447,209人

ポイント 交通環境改善と安全で安心な
住みよいまちづくり

地区概要 街路事業等の基幹事業による交通渋滞の緩和と
街路灯や防火水槽の整備などにより、安全で安心
な住みよい環境づくりを実施する。

目標 交通結節機能を強化し、金沢の北の玄関口にふさわしい魅力ある商業・流通拠点を創出すると
ともに、良好な住環境整備を推進し、計画的な郊外型市街地の創造を目指す。

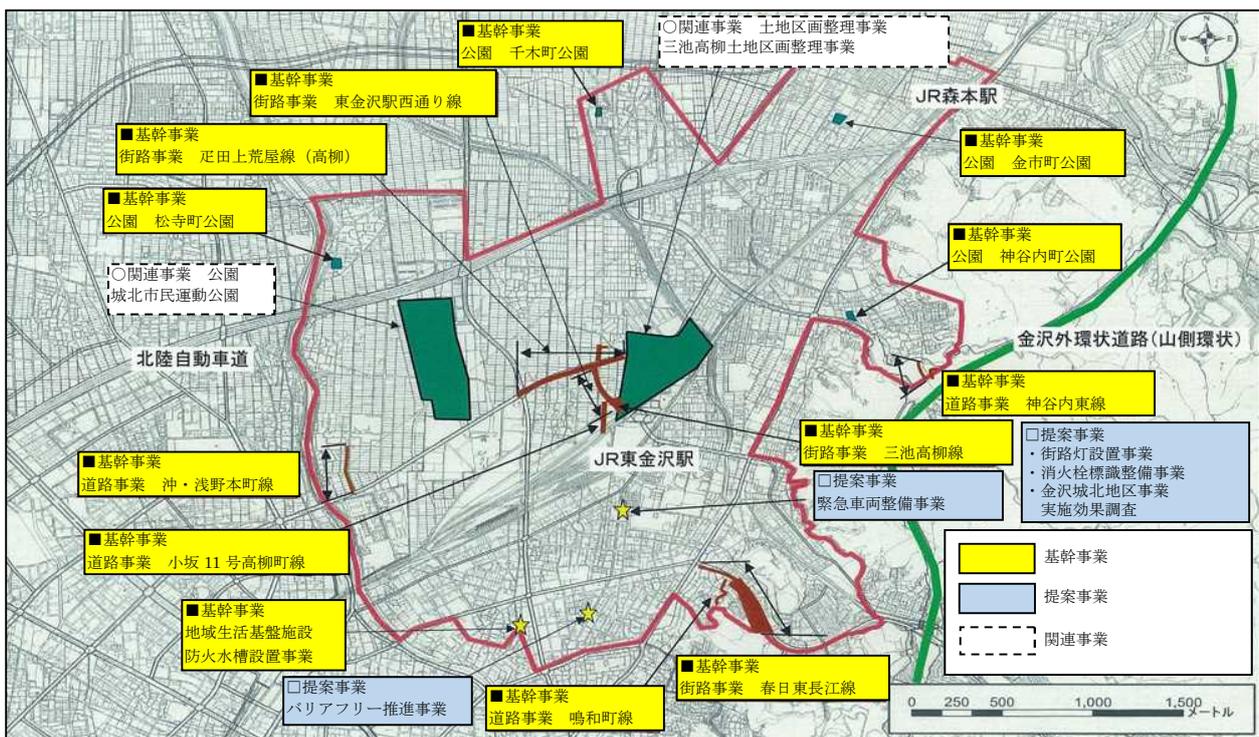
指標 交通環境改善としての駅利用者の増加と交通渋滞緩和を目標とするとともに良好な住環境の整備として
区域内人口の増加を目標とした。

指標	従前値 (H17)	目標値 (H22)	実績値 (H22)
区域内人口の増加	13,879 人	14,500 人	14,345 人
東金沢駅利用者数の増加	568,998 人/年	588,000 人/年	741,715 人/年
森本駅利用者数の増加	585,921 人/年	592,000 人/年	571,425 人/年
交通渋滞の緩和	20,714 台/12h	18,600 台/12h	15,821 台/12h

事業内容

基幹事業 (1,849 百万円) → 道路 (幅員 6m～22m、延長 3,244m)、公園 (4 か所 8,575 m²)、防火水槽 (1 基)
提案事業 (46 百万円) → 街路灯設置事業、消火栓標識整備事業、バリアフリー推進事業、緊急車両整備事業、

金沢城北地区事業実施効果調査



地区の現況と課題

JR北陸本線の東金沢駅と森本駅を有するとともに、北陸自動車道のICを含む、金沢市の北の玄関口に位置している。また、中心部周辺の近郊住宅街であるとともに、小・中・高・大学等を集積する文教地区でもある。

平成18年春の金沢外環状道路（山側環状）の開通に伴い、自動車交通量が増加することが見込まれるため、道路網整備が急務である。また、土地区画整理事業や民間開発などにより市街化が進む中、良好な住環境整備が求められている。



JR東金沢駅

交通環境の改善

【(都) 疋田上荒屋線（高柳）】



整備前



整備後

提案事業の特徴

安全・安心なまちづくり

防犯灯や防火水槽、緊急車両整備などの防犯・防災分野からオストメイトトイレの設置などの福祉分野において安全・安心で人にやさしいまちづくりを行う。



JR森本駅

計画策定プロセス

東金沢駅周辺まちづくり協議会

森本駅周辺まちづくり協議会

地元住民の意見を広く反映するため、地元の代表の方々（町会、婦人会、生産組合など）や学識経験者によって組織された協議会により、地区内の土地利用や整備方針について検討し、周辺整備計画を策定。



バリアフリー推進事業
(オストメイトトイレ)